

第3回丸子地域協議会会議録

日時 平成18年12月20日 午後1時30分から午後3時00分まで

会場 丸子地域自治センター4階講堂

出席委員（20名）

阿原孝之委員、生田淳一委員、石子美奈委員、浦芳照委員、片桐久委員、
倉沢史子委員、齋藤繁子委員、櫻井誠委員、笹沢暁委員、砂子守委員、
高山静江委員、武井純雄委員、土屋猶子委員、中西国子委員、中村貢委員、
成澤啓輔委員、成澤みつ子委員、原信夫委員、柳原幸生委員、吉池袈裟保委員

欠席委員（0名）

市側出席者

小林丸子地域自治センター長、堀内丸子自治センター次長、山越地域振興課長、
滝沢政策企画担当係長、横井地域づくり推進係長、中村主査、齋藤主任、小林
主任

1 開会（山越地域振興課長）

2 会長あいさつ（片桐会長）

3 第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について（諮問）

○片桐会長 第一次上田市総合計画・地域まちづくり方針について諮問があります。
説明を小林センター長。

○小林丸子地域自治センター長 地域まちづくりの諮問書につきましては、事前に
片桐会長さんの方にお渡ししております。私の方からは、市長がお見えになりま
せんので代わりに朗読させていただきます。

（諮問書の朗読）

4 協議事項等

（1）第一次上田市総合計画・地域まちづくり方針の策定について

（2）丸子地域まちづくり方針「計画シート」について

（3）今後の進め方について

○片桐会長 センター長の方から諮問書の朗読がありましたが、これを受けまして
協議に入る訳ですが、4の協議事項等の（1）から（3）は諮問に関する事項で
るので、一括して説明いただき、その後に質疑の時間を取りたいと思いますので
よろしく願います。事務局、説明願います。

○滝沢政策企画担当係長 政策企画局政策企画課の滝沢と申します。総合計画の方
を担当させていただいております。第一次上田市総合計画・地域まちづくり方針
の策定について説明させていただきます。諮問文書に添付してございます資料1、
資料2、諮問書の別紙ということですが、その内容をこれからご説明します。まず、
資料1の方ですが、第1次上田市総合計画・地域まちづくり方針の策定について

ということで、一つ目にまちづくり策定の趣旨ということで説明を申し上げます。合併により東西 30 km南北 40km、区域面積 552 平方kmを有することとなった本市は、地域的な特性や歴史的な沿革、様々な市民生活の営みにより、生活文化や市民意識など社会的、経済的、文化的な特性を有するそれぞれの地域で形成されています。住みやすく、質の高いまちづくりは、最も身近な生活の場であるこうした地域づくりから始まります。この地域まちづくり方針は、本市全体の調和の取れた発展を目指し、地域からの様々な提言や意見等を踏まえながら策定中である第一次上田市総合計画の一部として、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向を示すものとして策定するという趣旨です。次にまちづくり方針の区域と策定方針ですが、各地域協議会の区域ごとに取り組んでいただきます。裏面に参りまして、地域まちづくり方針の構成です。項目としましては、地域特性と発展の方向、ここではこの方針を定めるにあたって押さえておくべき地域の特性と、今後の方向性を概括的に示していただく、それともう一つは、地域まちづくり方針としまして、この新市の発展の方向を具体化していくために必要と思われる主な取り組みを示して、市民、行政、さらに市民と行政の協働によって現実していくべき共通目標として位置付ける。こういう中身です。まちづくり方針の期間ですが、第一次総合計画の基本構想と同様、8年間とし、基本計画の目標年度に合わせて見直しも検討して参りたいという予定です。5番の諮問の具体的内容ですが、「地域特性と発展の方向」と「まちづくり方針」について先程説明申し上げましたが、これを計画シートというものを使って整理をしていただくという内容です。「まちづくり方針」としましては、全部で7項目以内に絞り込んでいただき、計画シートを添付した答申をお願いしたいというものです。二つ目に第一次総合計画の策定に合わせるため、平成19年2月5日までに答申をお願いしたいと、非常に忙しいスケジュールです。何分にも総合計画全体のスケジュールが、この中にも委員さんおられますが、非常に忙しい展開で動いておりまして、大変申し訳ありませんがよろしく願います。別紙2の方ですが、総合計画の策定方針についてお示ししています。この内容につきましては、これまでも計画本体の方で実施しております地域別懇談会とか、あるいは分野別懇談会、それから色んな場面で策定方針ということで申し上げてある内容です。この中で大きい2番の第一次総合計画の特徴というところの②番で分権型合併の趣旨を計画策定の中で実現するというので、各地域協議会へ地域まちづくり方針について諮問する。こういったことが方針に書かれています。裏面に参りまして、4、5、6とありますが、6番の市民の参画というところで、市民参画の機会、色々な場面を設けてあります。総合計画審議会というものがありまして、地域別の懇談会、これ丸子地域においても実施しておりまして、分野別懇談会を実施したり、意見・提言を募集したりする中で、その一角として地域協議会というものを位置付けたという内容です。後は全体の策定方針ということで、ご覧いただきたいと思えます。もう一つこのゾーン計画策定に当たりまして、先程の策定方針の中でもアンケートを実施するという項目がありましたが、住民アンケートを実施しました。お手元に住民アンケート実施結果速報値の資料が予め送付されていると思えますが、住民アンケート調査という資料5番をご覧いただきたいと思えます。これは速報値ということになっていますが、お手元のものは丸子地域版として作ったものです。これに基づいて掻い摘んで説明いたします。アンケートの内容ですが、10月の13日から23日ま

で実施しました。18歳以上の男女を無作為に抽出し、郵送によって配布、回収しました。アンケートの配布数 4,500 通、回収は 1,956 通になりまして、但しこれは速報値として集計しまして、27 日までに回収された 1,852 通でまとめたものです。ただ、最終報告につきましては、1,956 通ということになる訳ですが、この中の集計結果、例えばグラフの中身とかはほとんどその比率は変わりません。最終報告になりまして、実数とかは変わる訳ですが、100%集計した結果ではないということです。回収率 43.5%という状況になっています。グラフの見方ですが、ご覧のように、シングルアンサー、単数回答による質問、あるいは MA とありますが、マルチアンサー、複数答える質問になっているというものもあります。表題の SA とか MA と書いてあるのはそういう意味ですのでご理解をお願いしたいと思います。2 頁をご覧いただきたいと思います。2 頁は、回答者の属性ということで、上から 2 番目、居住地域のところですが、各地域協議会単位で分類してまして、丸子地域につきましては左側になりますが、249 名の方がご回答いただいています。全体の 13.4%という状況です。3 頁に参りまして、調査結果になりますが、上田市の住みやすさについてということでお尋ねしています。全体としましては、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせれば 77%の人が概ね住みやすいと感じているという結果になっています。全体でどうなのかという単純集計と、この地域協議会の報告書の中には、各地域ごとにどうなのかということを見るためにクロス集計、この頁でいいますと下の方の表になります。各地域協議会単位に集計結果を更に整理をしているというものです。この内容を見ますと丸子地域につきましては、「大変住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を見ると 70%が概ね住みやすいということになっていますが、全体としましては、旧上田市地域と比べると旧 3 町村の雰囲気というのは若干住みやすさという比率が低くなっているなどということが見て取れると思います。以下質問の内容によりまして、市全体のことを聞いている部分と地域のことを聞いていたり、あるいは地域別に見た方が良いと思われる設問につきましては、ご覧のような地域別のクロス集計というものを作成しています。合わせてご覧いただきたいと思います。クロス集計の部分につきましては、若干見にくい部分がありましたので、カラー印刷で集約をしています。細かいところはまたご覧いただきたいと思いますが、特に 14 頁、15 頁のところ、市の全般的な施策や事業の点について満足度というのを調査しています。非常に項目数が多い関係で、先程のようなクロス集計が書ききれないので、丸子版というものが特に出来なかった訳ですが、その二つ後に A3 版の「市民の目から見た満足度と重要度のバランス」というグラフがあります。グラフに縦横に罫線を引きまして、縦軸、横軸のような形で入っていますが、各設問の重要度、満足度を得点化しまして、満足は 2 点、やや満足 1 点、やや不満 -1 点、不満 -2 点というふうに計算しまして、平均点が縦軸、横軸のところに当たる訳です。重要度につきましては、横軸より上にあれば重要度が高い。満足度につきましては、縦軸よりも右側にあれば満足度が高いということだと思います。この結果、オレンジ色のタイプ II というところは、満足度が高く重要度も高い。こんな整理が考えられる訳です。逆にタイプ I、グリーンのところですが、満足度が低いが高重要度の施策ということで、ここら辺が重要であるにもかかわらず満足度が今一である。このような結果として現れていると思います。平均点近くのところは一概にこの線よりも右にあるから良いとか、上にあるから良いとか、一概に言えないところもある訳ですが、ただ、かなり偏った傾向を示して

いるというのは注目していいと思っています。後は市民参加の関係については、特にクロス集計はありませんが、市全般的な内容として、ご覧いただければと考えています。以上アンケートのご説明を申し上げました。よろしく申し上げます。

- 山越地域振興課長 (2)の丸子地域まちづくり方針「計画シート」について、説明いたします。資料4をご覧ください。上田市総合計画の中の地域まちづくり方針について諮問を受け、これから地域協議会として答申をしていく訳ですが、その中にありました計画シートで答申をしていただきたいという内容の話がありました。お手元にあります資料4がその計画シートです。丸子地域ということで、地域の特性と発展の方向、それに対しまして地域まちづくり方針という形になっています。このシートで答申をお願いしたい訳ですが、現在ここに書かれていますのは、新市建設計画の中の地域別整備の方針です。前回の地域協議会の時にご説明しました新生上田市建設計画、この51頁、52頁に丸子地域について整備方針ということで書かれています。新市建設計画につきましては、合併特例法に基づいて策定したもので、計画期間を17年度から27年度までということでスタートしています。また、建設計画自体が合併の意志を決定する際の前提でもありました。当然その中では、新市における総合計画の中に、建設計画の内容等を融合していく必要があり、丸子地域のまちづくり方針を計画シートの中に、新市建設計画の丸子地域分を事前に記載しました。内容についてご説明しますと、丸子地域の「地域特性と発展の方向」ですが、これにつきましても建設計画の中に書かれている内容ですが、地域内に集積している製造業を中心とした産業資源や技術力を生かし、雇用の受け皿として産業の活性化を図ることにより新市の発展を支えていきます。また、生活環境の整備によって職住近接のゆとりある生活空間を形成するとともに、丸子温泉郷や豊かな自然・文化を生かすことで、新市における心和む健康の里としての機能や、生涯学習の里としての機能を担っていきます。丸子地域の特性と発展の方向について、このように計画が記載されています。1で申し上げてありますのは、建設計画の地域別の方針に加えて新たに加える要素があればここへ追加または訂正を加えて行きたいということです。次の欄が「地域まちづくり方針」ということで5項目あります。①としまして、軽快な交通ネットワークの整備ということで、東京都中京を結ぶ国道254号、上小と諏訪を結ぶ国道152号が交差するなど、丸子地域は交通の要所であるため、大型車の交通量が多く、引き起こされる騒音や渋滞によって住環境などが悪化しており、また、国道254号は代替路線や緊急時の迂回路がないといった課題もあります。上田地域都市環状道路の丸子地域内の整備やその他の道路網整備を進め、町の市街地を通過する車両の分散で騒音や渋滞を減らすことによって、安心・安全な環境の構築を目指すとともに、新市内の人・物・情報の循環と地域外交流の促進を支えていきます。②番としまして、健康×観光×自然＝交流人口の拡大という項目です。豊かな自然環境に加え、丸子温泉郷といった観光資源や医療機関を中心とした健康づくりの環境に恵まれています。また、信州国際音楽村周辺においては、住民の創意と工夫のもとに音楽と自然とが調和した公園づくりが進められています。さらに、アメリカ合衆国ブルームフィールド市郡との友好提携やアップウィズビープルへの係わりなど、国際親善の経験と実績が丸子地域には蓄積されています。こうした丸子地域特有の資源を最大限に生かし、世界を視野に入れた新市の交流人口の拡大に取り組んで行きます。③番としまして、新たな産業ブランドの創出ということであり、新市において特に依田窪地域の玄関口としての役割を担

うため、地域内商店街へのゆとり空間の創出や、顧客ニーズに合わせた商業経営ができるよう商業の集積を行うとともに、後継者の育成を支援していきます。また、陣場台地ではその土壌の特性を生かし、加工用ブドウ畑の造成を今後も推進するとともに周辺環境の整備を進めることによって、新たな産業ブランドの創造を目指し、新市の魅力を高めることにつなげていきます。④番ですが、生涯学習活動拠点の充実と新図書館の整備ということで、生涯学習の拠点として、丸子町文化会館（セレスホール）や信州国際音楽村の充実を図ります。さらに、生涯学習などの市民活動からビジネス活動まで様々な要望に応えることのできる、人・物・情報が行き交う新図書館の整備を進めます。新図書館では従来の図書館機能を充実させるだけでなく、地域に根ざした資料・情報の収集と発信を行います。また、新図書館に集う人的交流により生み出されるネットワークを生かし、地域に目を向けた様々な活動を促進することで、丸子地域や新市の活性化を図っていきます。⑤番としまして、可能性を秘めた雇用・居住・福祉の拠点整備ということです。それで右の欄の訂正をお願いしたいのですが、一行目のところですが、カッコ内の上田市と地開発公社と平仮名になってしまっているんですが、現上田市土地開発公社に訂正をお願いします。(株)カネボウ丸子工場跡地は旧丸子町土地開発公社（現上田市土地開発公社）が代行買収し、平成21年度までの計画的な取得を続けています。この広大な土地の活用については、新たなにぎわいと憩いの場として、雇用・居住・福祉において丸子地域や新市の拠点となるよう、住民の意見を聴きながら整備を進めていきます。以上5項目です。この5項目が、新市の建設計画に丸子地域の地域別方針ということで載っているものです。2のところを見ていただきたいのですが、総合計画の中では地域まちづくり方針について7項目、九つの地域協議会がありますが、7項目ずつにしようということになっています。上に二つ地域まちづくり方針について空欄がありますが、検討して加えていただきたいということです。それから3のところを見てください。3につきましては、今申しあげました5項目は、新市の建設計画の内容をそのまま記載してあります。建設計画の策定から一定の期間が経過している中で、追加する事項または修正することが望ましい事項がありましたら、協議会の意見として付記していきたいということです。以上のような形で、計画シートで答申をお願いしたいということです。続きまして、資料3を見ていただきたいと思います。今後の進め方ですが、本日諮問を受けまして、これから答申をしていく訳ですが、度々説明の中でもありましたが、諮問期間が短いということです。一つの案としまして、丸子地域協議会の日程を申しあげますが、お手元に計画シートの空欄になったものをお配りしてあります。今日の協議会を受けまして、それぞれ委員さんが思い当たるところを書いていただきまして、地域自治センターの方へ一旦提出してください。返信用の封筒も用意しています。各委員さんからいただいた内容を集約しまして、1月中旬に地域協議会を開かしていただきたいと思います。その後もう一回、1月下旬に地域協議会をお願いし、最終審議して答申内容を確定していきたいと思います。右の欄ですが、答申期限が2月5日、2月9日には片桐会長から市長へ答申をする日程になっています。といいますのも2月14日に総合計画の全体会議が開催され、そこへ中間報告をすることになっていますので、そこから逆算しますとこのようなスケジュールになってしまうということです。以上、計画シートの関係、今後の進め方についてご説明しましたがよろしくをお願いします。

○片桐会長 ただ今の滝沢係長、山越課長からの説明に何かご質問がありましたら

おだしを願いたいと思います。

- 委員 丸子地域まちづくり方針の計画シートの説明を聞いたんですが、内容が大き過ぎるというか、建設計画に沿って作られたのと例の総合計画にリンクして作られたと思うんですが、やり方としまして丸子地域の計画シートの部分ですが、7項目を先ず、シートの中に、まちづくりの方針を作られて、それから後で細かい計画を作成するというような趣旨だとは思いますが、2項目を追加しなければいけないというのは何か。この①から⑤番のほかに、先ほどのアンケートを取られた中で不足の部分を2項目加えるのか。それともこの協議会で全然別に抽出してやって行くのか。ある程度方向性を決めておかないとただ漠然と2項目追加しろと言われても各協議委員さんも個々に計画されるのは難しいと思います。何か2項目の思惑的なものがあつたら示してもらいたい。無ければ委員の中には一つ入れる人もいるし、二つ入れる人もいますのでその辺の縛りは無いのかどうか、その辺が漠然としていて難しいと考えましたので、もし分かりましたらそれと方向性をお願いしたいと思います。
- 山越地域振興課長 計画シートの関係でご質問いただきましたが、新市の建設計画の時には、各地域のバランスを取るということで、全ての地域が5項目になっています。今回、建設計画を踏まえて、新市の総合計画を樹立する訳ですから、そのままそっくり新市の建設計画を移行するということではなくて、何か新たに、1年半も経過していますし、その中に加えることがあればということで7項目以内にこれを揃えて行きたいということです。6項目であつてもかまいませんし、あるいは5項目で全て網羅しているということであれば良い訳ですが、この関係についても九つの協議会で別々に協議を進めていますので、ここに書いてありますように7項目以内で、1項目200字程度で計画を立てて行きたいということです。それぞれ委員さんがどういうふうに考えるかというご質問あつた訳ですが、追加できるのは2項目という前提の中で、丸子地域の将来を考える時に、こんなことが必要ではないかということがあれば、計画シートへ書いて地域自治センターへ送っていただきたいと思います。それを集約したものをもって次の協議会で検討いただければと思いますのでよろしく願います。
- 委員 住民アンケート結果の速報値の前に依頼文がありますね。その中に総合計画とはということで福祉、医療、産業、環境、建設、上下水道、教育等9項目になっていますよね。それで今の5項目につきましては、この中を相対的にある程度くり付けた様な区分で五つの項目になっているんですよね。これあくまでも案ですが、9項目の中をある程度分けられていますので、先ず計画の中を策定していただいて、その中から7項目くらいを抽出して計画シートの中に入れてもらったほうが、私とすればやり易いような感じもしないではないんですが、五つの項目見ますとこの9項目をある程度集約して、この共通項目もある程度ダブっている部分が見受けられますので、何かちょっと分かりづらいような項目になっていますので、今から検討したら間に合わないかどうか分かりませんが、もうちょっと検討してはどうかと意見を出したんですが。
- 山越地域振興課長 今の住民アンケートを依頼するときのパンフレットの裏に書いてあるやつですよね。この関係については、福祉から始まって消防までの全ての分野に渡る計画の指針別に作成するというようなものであつて、それぞれの分野ついて新市としての計画作りがある訳ですので、丸子地域の発展と特性とは別かと思えます。例えば市全体として考えるべき問題と丸子地域の地域の特殊性を

生かして考える、という意味かと思えます。地域別計画については、地域の特性を活かした計画という分野に当たるかと思うんですが、総合計画の中でもこの計画シートに対しても記載されますが、その中で例えば産業なんかについても、全てのものが、先ほど申しましたように商業から農業まで一つの項目で記載されています。これについても分けるという選択肢もあるかと思えます。今回7項目、前は5項目でしたから全てを織り込んだような感じにした訳ですが、どの地域ともバランスを取る中で5項目ということでやってきたもんですから今回7項目とする中で、分けるという一つの選択肢もあるかと思うんですが、それまで含めて7項目以内でお願いしたいということです。

○片桐会長 ほかにございますか。

○委員 今頃こんな形でやっけていいのかなと思うんですが、7項目の中で後で2項目追加するような話をお聞きしていて、確かに説明の中に欠けている点というのは、医療の関係はちょっと出ているんですが、医療関係だとか、子育ての関係だとか、高齢社会の関係だとか、それぞれ地域の特性にあった問題点がある訳です。そんな形のを、この中に入れるというものをあらかじめ出してもらって、それを検討するという形でやらないと、我々がここを出して、それを検討していくというのは2月に間に合うかどうか本当に気に掛かります。それと会議のもって行き方ですが、我々も資料を送っていただいた時に一通り読んで来ているんです。それをまたこういう形で輪をかけて説明していただいて、検討時間というのが本当に微々たる形になってしまうので、もう少し会議のもって行き方を工夫していただきたい。今説明していただいたのは、それぞれ市からの諮問という形だと思うんですよ。逆にこの地域から提案する事項というのは沢山あると思うんです。そんな点が今日、議題の中に入ってくるのかなと思っていたんですが、例えば丸子地域でこの項目の中にもあるんですが、カネボウ、神の倉を含めての土地活用なんかもね、地域で考えていかなければいけない問題ですし、商店街対策、これはどこもそうだと思うんですが、中心商店街の対策だとか、それから観光面、特に温泉郷の見直しだとか、折角これだけの良い環境にありながら現在のままで推移して来て、それから陣場の観光の面も含めたり、それから荒れた山の整備、依田川を中心とした河川整備だとか、それから青少年の育成問題、とても大きな問題だと思うのですが、それから高齢者対策、一番私が自治会をやっていると思うのは、自治会組織の見直しだとか、もって行き方だとか、こういう問題は、例えばコミュニティーのような崩壊がある訳ですね、こんな点をもっと地場で積極的に進めて行かなければいけないんじゃないかなと、それから自治センターの見直し、これも一番最初に議会にも出ていますが、例えば自治センターの組織、権限の委譲、予算の問題ね、こういうようなものをもっと真剣に地域から上げていくことが必要ではないか。それからセンター長を前に失礼ですが、センター長だって特別職という形でもっと権限を持っていただいて、地域に密着した行動が出来るような形を是非やってもらいたい。こんな感じがします。この前も申し上げたのは、8月に上越市を見に行った時に上越は1年に十何回、一月に1回ずつ勉強しているんです。それから諮問が来る、確か19項目、それから地域で上がってくるのが14項目、それを一つずつ潰しているんですね。ですからいつも資料の説明で終わってしまうような形で、本来の討議が無いような気がするんです。こんな点を是非、会議のもって行き方をお願いしたいと一言申し上げました。

○片桐会長 ただ今のご指摘ですが、そのとおりだと思います。ただ、今言われた

ことが、もしこの五つの中に漏れている部分がありましたら、事務局から入れて欲しいという要望ですので、この5項目にダブらないように漏れている分野を、今言われたようなご指摘がありましたらここに書き込んでいただきたいということです。ご理解願いたいと、ただこの7項目ですが、あくまでも総合計画の中の地域づくりですから、あまり細かい部分を指摘されてもおそらくこの総合計画の中に一々書くという訳にはいかないということをご理解願いたいと思います。

- 委員 説明の中にあつた(1)のまん中どこらにある上田地域、ちょっと細かい指摘で申し訳ないが、丸子地域内の整備やその他の道路網整備を進め、町の市街地、この「町」はもう合併していてこんな形でいいのかなとそんな感じがするんですが、それから丸子町の文化会館は、丸子町文化会館の名称になったんですか。セレスホール？そんな点ちょっと気に掛かって。
- 山越地域振興課長 今ご指摘のとおりでして、よくよく見直したんですが、その部分も含めまして一番下の旧丸子町土地開発公社を現上田市と地開発公社も、そんなところも訂正、加除を今回全部加えて行きたいと思います。丸子町文化会館も現在丸子文化会館になっています。それから会議の進め方の話があつた訳ですが、当初市の方で原案を作つて出すかということもありまして作つてはみましたが、今回が初めての答申です。原案をお示ししますとそういう流れが出来てしまいますので、本当に丸子地域の将来にどんなものが必要なのかということで、ざっくばらんに皆さんに出してもらふ意味で今回あえて原案というものはお配りしませんでした。新市の建設計画にある5項目のみをお配りして、あくまで委員さんの方から出していただこうと、確かに今言われますとお時間ありませんが、今日は一旦お持ち帰りいただいて、思うことを何でも書いて出していただこうと、それを集約したものを次回、論議の場に出していこうと思ひまして進めさせていただきました。それから今日できれば、地域協議会の後、フリートークのような形で、今言われたような色々な問題があるかと思ひますので、委員さんから計画するに当たつての認識の共有ができればと思ひています。よろしくお願ひします。
- 片桐会長 他にございますか。無いようですので、今後の協議会の日程について決めたいと思ひます。協議の進め方については、事務局から説明のあつたとおり丸子地域まちづくり方針計画シートを委員各自で「地域特性と発展の方向」と「地域まちづくり方針」について、追加、修正して、事務局へ提出していただき、事務局で取りまとめたものを次回の協議会で内容の協議、意見の取りまとめを行ひまして、その次の協議会で答申書の作成をしていきたいと思ひますが、よろしいでしょうか。
- 委員 シートの提出は、後で日程決まると思ひますが、シートは記名式ですか。無記名式ですか。
- 山越地域振興課長 記名式でお願いします。といいますのは、色んな意見が出てくると思ひます。事務局で集約する訳ですが、当日、協議会の中で補足説明があればしていただきたいと考えておりますのでお願いします。
- 片桐会長 よろしいですか。次に日程ですが、答申までの期間が非常に短い訳です。事務局で案がありましたらお願いします。
- 斎藤主任 新年を迎えて大変お忙しい時期と思ひますが、答申の期日が2月5日と大変短くてタイトなスケジュールになっております。資料の3をご覧くださいと思ひます。先ほど課長の方から説明いたしました。本日、諮問がありました。2段目に1月上旬までにとということで、計画シートの提出につきましては、

1月10日までをお願いしたいと考えています。本日お配りしてあります計画シート提出用に記入していただきまして、お手元に封筒をお配りしてありますのでそちらの方で郵送していただくか、直接事務局の方へ提出していただきたいと思います。提出していただきました計画シートは、事務局で集約いたしまして、次回の協議会で審議をしていただく訳ですが、3段目の1月中旬ということで、第4回地域協議会開催ですが、会場等の都合で1月15日辺りにと考えています。最終審議、答申書の確定の会議につきましては、一番下の段、1月下旬第5回地域協議会の開催は、1月31日辺りにお願いしたいと考えています。なお、時間帯につきましては、午前、午後、夜間でも結構ですので、皆様で協議して決めていただきたいと考えています。よろしく申し上げます。

○片桐会長 ただ今の事務局の案でご都合いかがでしょうか。

○委員 検討の回数2回ということなのですが、今お話ありましたように決まるのかという不安があります。時間的に、回数を伸ばすということは、ご検討できますか。

○山越地域振興課長 今、申し上げましたのは、2回ということでお示した訳ですが、2月の5日が答申ということで、2回目の1月31日に決まらなければ、再度開けるとということで、1月31日に計画させていただきました。まとまらなければ2月5日までの間に開くということです。よろしく申し上げます。

○片桐会長 よろしいですか。それでは、計画シートの提出期限は、1月10日水曜日、次回第4回地域協議会は、1月15日月曜日、その次の第5回地域協議会は、1月31日水曜日ということでよろしいでしょうか。

(「いいです」の声あり)

時間はそれぞれ何時がよろしいでしょうか。意見がなければ、本日と同じ午後1時半でお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。

(「いいです」の声あり)

それでは、計画シートは1月10日までにお手元の封筒で郵送か、直接事務局へ提出していただきたいと思います。次回第4回地域協議会は、1月15日月曜日、午後1時30分からこの場所で、第5回地域協議会は、1月31日水曜日、午後1時30分から同じくこの場所で行うということでよろしくお願いをしたいと思います。休憩をしたいと思います。再開は2時35分でお願います。

休憩 午後2時20分から
午後2時35分まで

(4) 上田市地域協議会連絡会議の設置について

○片桐会長 それでは再開します。「上田市地域協議会連絡会議の設置について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

○山越地域振興課長 それではお手元の資料6をご覧くださいと思います。今日お配りした資料です。今回、九つの地域協議会に諮問を受けまして、それぞれスタートしている訳で、その中で九つの地域協議会で連絡会というものを設置する必要があるということで、今回一斉にこのような形で提案をさせていただきました。資料を読みますと、仮称「上田市地域協議会連絡会議」の設置について、1の設置の必要性ですが、上田市全体の一体感の醸成と均衡ある発展のために、各地域協議会における共通事項の全体調整や情報の交換・共有、連携を図るため、

それぞれの地域協議会選出委員で構成される連絡会議を設置したいというものです。下の方に図がありますが、上田中央から始まりまして、旧上田市で六つの地域協議会、それから丸子、真田、武石の地域協議会を含めまして九つの地域協議会があります。2のところでは連絡会議の詳細ですが、組織としましては、委員は各地域協議会の会長及び副会長によって構成するということで18名になります。任期は協議会の委員任期となります。それから連絡会議に会長、副会長を置き進捗して行きたいということです。任務としましては、協議会の活動に関する情報交換とその他連絡会議が必要と認める事項について進めさせていただきたい。また、会議につきましては、会長が招集し、議長となり、会議は年3、4回を予定しています。6として報酬ですが、現在の条例の中では、連絡会議の設置について規定がありません。そういうことで任意ということですので、無報酬でお願いしていきたいということです。裏面にイメージということですが、現在、今月の各地域協議会にお願いしまして、設置について検討して決定していただきましたら早急に設置して参りたいと思います。よろしく願いいたします。

- 片桐会長 ただ今の説明に対しまして、何かご意見、ご質問ございましたら。よろしいですね。

(「なし」の声あり)

それでは上田市地域協議会連絡会議を原案のとおり設置します。

(5) その他

- 片桐会長 ほかに質問、意見がなければ、ないようですので、以上をもちまして本日の議事を終了いたします。